

滝根っ子だより

平成28年2月1日発行【回覧】
滝根地区幼・小・中連携推進会議
事務局：滝根中 広報担当：菅谷小

小・小交流事業

幼小中連携事業では、幼と小、小と中の連携を大切にしていますが、今年度は特に、小学校統合を見据えて3つの小学校どうしの交流を次のように取り入れてきました。

- 123年生・・・学年毎に、遊びや学習をとおした交流
 - 4年生・・・宿泊学習（郡山自然の家）、童謡唱歌音楽祭
 - 5年生・・・宿泊学習（会津若松）、サマースクール
 - 6年生・・・修学旅行（仙台）、田村市水泳大会、田村市陸上大会、英語集中プログラム
- [1～3年生の活動紹介]

1年生は滝根小において11月19日に実施しました。幼稚園以来、久しぶりに会うお友達に、始めは照れくさそうな様子も見られましたが、すぐになかよく歌ったりゲームをしたりして、楽しく遊ぶことができました。来年から同じクラスの仲間として、なかよく楽しく遊ぶ姿を見てうれしくなりました。



2年生は、11月24日に実施しました。4つのグループに分かれて交流しました。自己紹介をした後、歌を歌ったり、おにごっこ、リレー、爆弾ゲームをしたり・・・。みんなとても楽しい時間をすごしました。「3年生になるのが楽しみです。」という感想が多く、終わったときには名残を惜しみ、4月に会おうねという声が聞かれました。



3年生は、11月25日に実施しました。久しぶりに会う友達に、最初は少し緊張していましたが、少しずつ打ち解け楽しい一時を過ごすことができました。一緒に歌を歌うときは、手拍子を入れたり、2～4人のグループで手をたたいたりしながら、楽しく歌いました。最後の4チームに分かれての「ドッジビー」では、力いっぱい投げたり、逃げ回ったりして、元気よく活動しました。



交流後は、どの学年も「とても楽しかった。」「また〇〇さんに会いたいな。」と話す子どもが多く、新しい滝根小学校への期待をふくらませることができました。

今後、来年度入学児の小学校1日入学や小学校6年生の中学校1日体験入学を予定し、幼・小交流や小・中交流を推進していきます。

新「滝根小学校」建築 進捗状況について

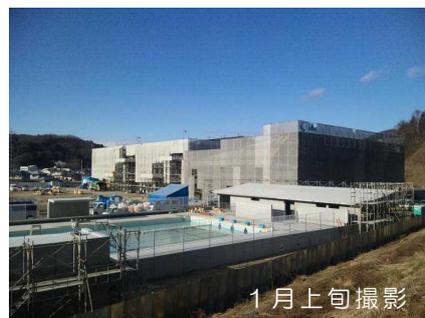
平成28年4月1日に滝根小、菅谷小、広瀬小は統合し、田村市立滝根小学校としてスタートします。
(次ページへ)



新校舎は、昨年度から敷地造成を行い、校舎等の建築工事も進められてきたところでありましたが、この夏以降、震災復興関連事業等の影響で作業員の確保が困難な状況となりました。工事請負業者と市との協議の上、工期を6月末まで延長するとの決定がなされ、その説明がありました。

そのため、4月に新しい滝根小学校を開校した後、3カ月間は現在の滝根小学校校舎を用いて教育活動を行います。新校舎は、1月上旬には屋根がかかり、窓枠が入るところまで工事が進んでいました。

学校では、4月から3カ月間の教育活動に支障がないよう準備を進めています。新「滝根小学校」の校歌・校章も決定し、各校で校歌の練習も行っています。また、教育目標は小中連携事業の成果を生かし、滝根中学校の教育目標【自主・自律】を踏まえながら、次のとおり設定しています。



学校教育目標： 心豊かに たくましく 学び続ける子どもの育成

目指す児童像： 「自ら学ぶ子ども」

「しなやかで思いやりのある子ども」

「元気で健康な子ども」



先進校視察研修 ～情報機器活用を学びました～

滝根地区「幼小中連携ステップアップ事業」では、滝根幼、滝根小、菅谷小、広瀬小、滝根中の5校・園の教職員が指導力を向上させるための研修を行っています。

今年度は、各校から相馬郡新地町で11月18日に開催された「新地町ICT活用発表会」に参加しました。このうち新地町立福田小学校では、6年「比例をくわしく調べよう」の単元で、児童がタブレットを1台ずつ使い、個々の学習状況を電子黒板で確認しながら学習を進めます。

学習する比例の問題は、あらかじめ担任から課題として Web に上げられており、児童は、それを家庭で見て、タブレットを操作しながら自分の考えをまとめておきます。授業では、それぞれが考えた問題の解き方を持ち寄って話し合い、深めていきます。タブレット画面にペンを使って文字を入れ、自分の考えを発表していました。

情報機器を活用した新しい学習方法について参観者も熱心にメモをとるなど、学ぶところの多い研修でした。



※ ICT とは : Information and Communication Technology (インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー) の略で、IT = 情報技術に通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉です。